

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(市町総括表)
【単独・連携事業】

市町名	那須塩原市
-----	-------

(単位:円)

No.	単位事業名		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	合計
1	身近な生き物の野外観察	総事業費		235,358	145,000	105,000	100,000	585,358
		うち市町支出額		172,272	70,000	30,000	0	272,272
		うち県交付金		86,136	35,000	15,000	0	136,136
2	「地域力の向上」をめざして-安全・防災で安心して暮らせる「絆」づくり-	総事業費		936,584	330,000	200,000	200,000	1,666,584
		うち市町支出額		842,925	230,000	100,000	0	1,172,925
		うち県交付金		421,462	115,000	50,000	0	586,462
3	幼児から大人まで楽しめる吹奏楽コンサート	総事業費		508,000	0	493,000	500,000	1,501,000
		うち市町支出額		367,200	0	219,100	250,000	836,300
		うち県交付金		183,600	0	109,550	125,000	418,150
4	家庭訪問型子育て支援ホームスタート・ホームビジター養成事業	総事業費			414,800	511,000	400,000	1,325,800
		うち市町支出額			275,400	252,700	150,000	678,100
		うち県交付金			137,700	126,350	75,000	339,050
5	地域による子育て交流事業	総事業費			530,000	830,000	500,000	1,860,000
		うち市町支出額			477,000	581,000	250,000	1,308,000
		うち県交付金			238,500	290,500	125,000	654,000
6	地域活性化・地域コミュニケーション作りを目的としたチャレンジ大学	総事業費			1,038,328	597,100	800,000	2,435,428
		うち市町支出額			826,495	375,970	340,000	1,542,465
		うち県交付金			413,247	187,985	170,000	771,232
7	～多様性を認め合い、人がつながる地域社会を目指して～ Your Dream♪プロジェクト 「夢を育てよう」	総事業費			193,126	60,300	50,000	303,426
		うち市町支出額			171,000	42,210	25,000	238,210
		うち県交付金			85,500	21,105	12,500	119,105
8	民話かたりでふるさとおこし	総事業費				928,800	500,000	1,428,800
		うち市町支出額				835,920	340,000	1,175,920
		うち県交付金				417,960	170,000	587,960
9	見守り活動「埼玉地域見守り活動サポート」	総事業費				211,800	200,000	411,800
		うち市町支出額				189,000	140,000	329,000
		うち県交付金				94,500	70,000	164,500
10	段ボール御神輿コンクール	総事業費				360,000	360,000	720,000
		うち市町支出額				306,000	252,000	558,000
		うち県交付金				153,000	126,000	279,000
11	feelings 夏まつりフェス	総事業費				603,500	600,000	1,203,500
		うち市町支出額				457,450	420,000	877,450
		うち県交付金				228,725	210,000	438,725
12	広げよう! 防災の輪	総事業費				65,950	100,000	165,950
		うち市町支出額				57,915	70,000	127,915
		うち県交付金				28,957	35,000	63,957
市町計	総事業費		0	1,679,942	2,651,254	4,966,450	4,310,000	13,607,646
	うち市町支出額		0	1,382,397	2,049,895	3,447,265	2,237,000	9,116,557
	うち県交付金		0	691,198	1,024,947	1,723,632	1,118,500	4,558,277

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	那須塩原市
事業名	身近な生き物の野外観察
事業主体の名称	ジュニア生き物クラブ
代表者の名称	松村 雄
事業主体の所在	〒325-2745 那須塩原市三区町658-72
事業主体の概要	<p>・団体の目的:自然に接する機会が乏しく、生き物を肌で感じる事が少なくなった子供たちに、身近な生き物に触れ親しみ、観察したり調べたりする機会を与える。子供たちが、実体験を通して多様な生き物がすむ自然のすばらしさに触れ、感じ取ることにより、自然の大切さや生命の尊さを学ぶことを目指す。</p> <p>・設立年月日:平成25年6月23日</p> <p>・構成員等:16人(指導員)</p>
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>現在の子供たちは、テレビ・ビデオの映像や読書で豊富な知識を得ることはできるが、直接自然に接する機会は乏しい。子供たちが地域の身近な生き物に親しみ、実体験を通して感覚的に自然を知り、科学的な視点から自然のシステムを理解することが必要である。</p>
事業目的	<p>那須塩原市の豊かな山野で、地域の子どもたちに直接自然と接してもらい、体験をとおりて自然を学んでもらう。また、多様な生き物を観察し、親しむことで那須塩原市の自然環境の素晴らしさを知り、魅力的な地域資源として再認識するとともに郷土愛の醸成につなげることを目的とする。さらに、活動内容について情報発信することにより、市内外の子育て世代が、豊かな自然環境の中で、体験を通して成長することができる子育て環境の良さを認識してもらおう。</p>
事業概要	<p>【平成31年度】</p> <p>■身近な生き物の野外観察</p> <p><対象>市内の小学生15名程度</p> <p><内容>5月 開校式・自然探検(烏ヶ森公園)、6月 土の中の動物さがし(那須野営場)、7月 山野の動植物の観察(千本松牧場)、8月 夏の植物しらべ(烏ヶ森公園)、9月 赤とんぼを探そう(那須野営場)、10月 鳥の巣箱作り(那須野営場)、11月 野鳥の観察(鳥野目河川公園)、12月 モグラのトンネル掘り(那須野営場)、1月 冬の森探検(大沼園地)、2月開校式、親子ピザ作り体験(那須野営場)</p> <p>《情報発信》</p> <p>・事業の実施にあたり、HPや広報、市内各所でのチラシの配布により参加を呼びかける。また、活動の様子を、HP等に掲載し、那須塩原市の自然と、体験教育の機会充実についてPRする。</p> <p>【令和2年度以降】</p> <p>■身近な生き物の野外観察</p> <p>検証・分析を踏まえ、より多くの子供たちに実際に自然に触れ合う体験の機会を作る。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【基本目標】未来を拓く子どもたちの健やかな成長のために</p> <p>【重点施策】「Kyouiku(教育)体験教育の充実」に寄与する。</p> <p>【目標指標】児童福祉の充実に対する市民満足度 基準値(平成22年度)48点 ⇒ 目標値(平成31年度)60点以上【H27実績 51点】</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	平成29年度	平成30年度	平成31年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	身近な生き物の野外観察	身近な生き物の野外観察	身近な生き物の野外観察		身近な生き物の野外観察
事業費	235,358	145,000	105,000	485,358	100,000
市町支出金 (ソフト事業分)	172,272	70,000	30,000	272,272	0
うち県交付金	86,136	35,000	15,000	136,136	
市町支出金 (ハード事業分)	0	0	0	0	0
うち県交付金	0	0	0	0	
その他自主財源等	63,086	75,000	75,000	213,086	

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	市民協働推進課 協働のまちづくり室
担当者名	杉本 雅和
電話	0287-62-7151
FAX	0287-62-7220
E-mail	kyoumachi@city.nasushiobara.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	那須塩原市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	身近な生き物の野外観察	
対象年度	31	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
那須塩原市補助金	30,000	
自己資金	30,000	会負担
参加者負担金	45,000	3,000円×15名
計	105,000	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		県交付金			
報償費	10,000	5,000	2,500	5,000	講師謝礼
消耗品費	25,000	12,500	6,250	12,500	理科消耗品等、事務用品
保険料	24,000	6,000	3,000	18,000	損害保険
使用料及び賃借料	46,000	6,500	3,250	39,500	借り上げバス等
計	105,000	30,000	15,000	75,000	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	那須塩原市
事業名	「地域力の向上」をめざして-安全・防災で安心して暮らせる「絆」づくり-
事業主体の名称	大山コミュニティ運営委員会
代表者の名称	田口 常信
事業主体の所在	〒329-2712 那須塩原市下永田8-7-86 (大山公民館内)
事業主体の概要	・団体の目的:地区内組織・機関・団体との連携を密にし、コミュニティづくりの計画及び運営について、住民の意思反映と住民の自主参加を促進して、住民相互の連帯感と生活文化の向上を図り、明るい地域づくりに資することを目的とする。 ・設立年月日:平成2年8月5日 ・構成員等:地区住民等 10,286人
当該事業に係る地域の現状と課題	近年、都市化が進み、様々な生活上の問題が浮上してきた。特に地域住民の連帯意識が薄れ、地域の「絆」が弱体化してきており、災害や高齢者の見守りに対応しにくい状況にある。また、地域の伝統行事や地域にある様々な団体の組織編成や運営に支障が出てきている。そのため、住民相互の連帯意識を高め、地域力を向上させることが必要である。
事業目的	地域の連帯意識を高めるために、住民の意識啓発を図り、地域住民が安心して暮らすことができる「絆」づくりの実現から「地域力の向上」に寄与することを目的とする。
事業概要	【平成31年度】 ①地域住民の意識啓発 ポスター・チラシの配布(通年)、あいさつ運動・声かけ運動展開②電柱巻き看板の追加設置、補修 ③ボランティア「きずなつくり隊」の追加募集④ヒヤリハット研修(警察の協力を得て、PTAと合同実施)⑦HUGゲーム、避難所運営スキルアップ⑥合同避難訓練、心肺蘇生講習、AEDの使い方など体験 【令和2年度以降】 地域づくり、絆づくりは継続して展開してゆき、コミュニティ自主防災組織の設立をめざす。
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	【基本目標】①未来を守る災害対応力の強化のために ②未来に集う人々の活発な交流のために 【重点施策】Kurashi(暮らし)「安心・安全な生活環境の確保、「Kouryu(交流)地域コミュニティの活性化に寄与する。 【目標指標】①災害に対する備えの強化と生活安全確保に対する市民満足度 基準値(平成22年度)59点 ⇒ 目標値(平成31年度)65点以上【H27実績 52点】 ②定住促進計画期間において、市への転入者数が転出者数を上回る【H29実績 36人転出超過】

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	平成29年度	平成30年度	平成31年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①意識啓発 ②あいさつ・声かけ運動 ③キャッチコピーの募集 ④電柱巻き看板の設置 ⑤きずなつくり隊の活動 ⑥ヒヤリハット研修 ⑦HUGゲーム	①意識啓発 ②あいさつ・声かけ運動 ③電柱巻き看板の設置 ④きずなつくり隊の活動 ⑤ボランティア活動 ⑥ヒヤリハット研修 ⑦HUGゲーム、各自治会との一斉避難訓練、ワークショップ	①意識啓発 ②電柱巻き看板の設置 ③きずなつくり隊の活動 ④ヒヤリハット研修 ⑤HUGゲーム ⑥避難訓練		①意識啓発 ②ボランティア活動 ③きずなつくり隊活動 ④防災研修
事業費	936,584	330,000	200,000	1,466,584	200,000
市町支出金 (ソフト事業分)	842,925	230,000	100,000	1,172,925	0
うち県交付金	421,462	115,000	50,000	586,462	
市町支出金 (ハード事業分)	0	0	0	0	0
うち県交付金	0	0	0	0	
その他自主財源等	93,659	100,000	100,000	293,659	200,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	市民協働推進課 協働のまちづくり室
担当者名	杉本 雅和
電話	0287-62-7151
FAX	0287-62-7220
E-mail	kyoumachi@city.nasushiobara.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	那須塩原市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	「地域力の向上」をめざして-安全・防災で安心して暮らせる「絆」づくり-	
対象年度	31	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
那須塩原市補助金	100,000	
自己資金	100,000	コミュニティ負担金
計	200,000	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		県交付金			
報償費	5,000	2,500	1,250	2,500	講師謝礼
消耗品費	57,000	28,500	14,250	28,500	地図、教材、結束バンド、事務用品等
印刷製本費	83,000	41,500	20,750	41,500	ポスター、チラシ
通信運搬費	30,000	15,000	7,500	15,000	切手、はがき代
委託料	25,000	12,500	6,250	12,500	電柱巻き看板作成
計	200,000	100,000	50,000	100,000	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	那須塩原市
事業名	幼児から大人まで楽しめる吹奏楽コンサート
事業主体の名称	ファミリープラスバンドمامソウル
代表者の名称	石井 百合子
事業主体の所在	〒325-0033 那須塩原市埼玉6-1397
事業主体の概要	<p>・団体の目的:一般吹奏楽団体に所属するのが困難な主婦を中心とし、子ども家族も参加可能な吹奏楽団体であり、演奏を楽しむとともに、訪問演奏を目標として活動することを目的とする。</p> <p>・設立年月日:平成19年6月15日</p> <p>・構成員等:46人</p>
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>育児中の家族が音楽を楽しむ環境が少なく、クラシックコンサートなどは子供たちが飽きてしまい、大人は最後まで鑑賞できないことが多い。また、地域の子供たちは、気軽に生演奏に触れる機会も少ない。安心して子育てができる環境を作るとともに、未来を担う子供たちのために、音楽に触れる機会を増やすことが必要である。</p>
事業目的	<p>育児中の家族が気軽に参加でき、小さな子供たちも飽きることなく親子で、音楽に触れることで、情操豊かな心をはぐくむ。また、親子間でのコミュニケーションが増えるとともに、育児中の母親同士のコミュニケーション、触れ合いが生まれ、安心して子育てができる環境の一助となることを目標とする。</p>
事業概要	<p>【平成31年度】</p> <p>■子育て世帯が親子で楽しめる吹奏楽コンサートの開催 <開催日>令和元年9月1日(土) <場所>黒磯文化会館 <内容>親子で楽しめる参加型のコンサート 《情報発信》 ・事業の実施にあたり、HPへの掲載の他、学校、保育園等にチラシ、ポスターにて周知する。</p> <p>【令和2年度以降】</p> <p>地域の保育園、幼稚園などにも訪問し、より近くで生演奏に触れてもらう機会を作る。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【基本目標】①未来を拓く子どもたちの健やかな成長のために</p> <p>【重点施策】「Kosodate(子育て)」子育て環境の整備、子育て親子の交流促進に寄与する。</p> <p>【目標指標】児童福祉の充実に対する市民満足度 基準値(平成22年度)48点 ⇒ 目標値(平成31年度)60点以上</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳 (単位:円)

	平成29年度	平成31年度	令和2年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	子育て世帯が親子で楽しめる吹奏楽コンサート	幼児から大人まで楽しめる吹奏楽コンサート	幼児から大人まで楽しめる吹奏楽コンサート		幼児から大人まで楽しめる吹奏楽コンサート
事業費	508,000	493,000	500,000	1,501,000	500,000
市町支出金 (ソフト事業分)	367,200	219,100	250,000	836,300	0
うち県交付金	183,600	109,550	125,000	418,150	
市町支出金 (ハード事業分)	0	0	0	0	0
うち県交付金	0	0	0	0	
その他自主財源等	140,800	438,866	250,000	664,700	500,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	市民協働推進課 協働のまちづくり室
担当者名	杉本 雅和
電話	0287-62-7151
連絡先 FAX	0287-62-7220
E-mail	kyoumachi@city.nasushiobara.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	那須塩原市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	幼児から大人まで楽しめる吹奏楽コンサート	
対象年度	31	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
市補助金	219,100	
自己資金	273,900	会負担
計	493,000	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
報償費	113,000	44,100	22,050	68,900	会場・駐車場整理スタッフ謝礼
消耗品費	60,000	42,000	21,000	18,000	演出衣装、道具用消耗品
食糧費	50,000	0	0	50,000	スタッフ弁当代
印刷製本費	80,000	56,000	28,000	24,000	チラシ、プログラム、ポスター
通信運搬費	10,000	7,000	3,500	3,000	切手代
使用料及び賃借料	180,000	70,000	35,000	110,000	会場、照明・音響使用料
計	493,000	219,100	109,550	273,900	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	那須塩原市
事業名	家庭訪問型子育て支援ホームスタート・ホームビジター養成事業
事業主体の名称	特定非営利活動法人子育てほっとねっと
代表者の名称	西田 由記子
事業主体の所在	〒329-2754 那須塩原市西大和6-2
事業主体の概要	<p>・団体の目的: 子育ての支援を必要としている家庭に対し、地域において地域の人の手による子育て支援と子育てのネットワークづくりに関する事業を行い、世代をこえた交流と通し、家族が安心して生活できる地域づくりを行うことを目的とする。</p> <p>・設立年月日: 平成24年2月16日</p> <p>・構成員等: 35名</p>
当該事業に係る地域の現状と課題	近年、子ども宛支援のメニューは充実してきており、当法人も市からの委託事業ファミリーサポートセンターを実施してきた。その中で浮かび上がってきた課題として、そのような支援の場に出てこられる家庭は良いが、出てこれない家庭がたくさんあり、こちらから出向いていくアウトリーチ型の子育て支援の方法が必要である。
事業目的	家庭訪問型子育て支援ホームスタートの担い手であるホームビジターの養成を行い、孤立している乳幼児を持つ家庭の子育てを支援していくことを目的とする。
事業概要	<p>【平成31年度】</p> <p>■家庭訪問型子育て支援「ホームスタート」事業実施のため、子育て家庭を支えるホームビジターの養成講座を行う。また、「ホームスタート」について広く周知を行うための説明会を行う。</p> <p>＜内容＞</p> <p>6月上旬: ホームスタート活動報告会 7月: ホームスタート説明会 8月下旬～10月下旬: ホームビジター養成講座(8回)実施 2月ホームビジターステップアップ研修</p> <p>＜対象者＞</p> <p>ホームビジター養成講座については、20歳以上の市民でホームビジターになることを希望する方などでも。</p> <p>《情報発信》</p> <ul style="list-style-type: none"> チラシを作成し、公共施設や案内所等に設置・配布。また、法人ホームページに掲載し、情報発信を行う。 <p>【令和2年度以降】</p> <p>ビジター養成が済み次第、乳幼児をもつ子育て家庭に向けてホームスタートの広報を行い、ホームスタートの事業を開始する。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【基本目標】未来を拓く子どもたちの健やかな成長のために</p> <p>【重点施策】「Kosodate(子育て)」子育て支援体制の整備に寄与する。</p> <p>【目標指標】児童福祉の充実に対する市民満足度 基準値(平成22年度)48点 ⇒ 目標値(平成31年度)60点以上【H27実績 51点】</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	平成30年	平成31年	令和2年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	家庭訪問型子育て支援 ホームスタート・ホーム ビジター養成事業	家庭訪問型子育て支援 ホームスタート・ホーム ビジター養成事業	家庭訪問型子育て支援 ホームスタート・ホーム ビジター養成事業		家庭訪問型子育て支援 ホームスタート・ホーム ビジター養成事業
事業費	414,800	511,000	400,000	1,325,800	400,000
市町支出金 (ソフト事業分)	275,400	252,700	150,000	678,100	0
うち県交付金	137,700	126,350	75,000	339,050	
市町支出金 (ハード事業分)	0	0	0	0	0
うち県交付金	0	0	0	0	
その他自主財源等	139,400	258,300	250,000	647,700	400,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	市民協働推進課 協働のまちづくり室
担当者名	杉本 雅和
電話	0287-62-7151
連絡先 FAX	0287-62-7220
E-mail	kyoumachi@city.nasushiobara.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	那須塩原市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	家庭訪問型子育て支援ホームスタート・ホームビジター養成事業	
対象年度	31	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
那須塩原市補助金	252,700	
自己資金	258,300	会負担
計	511,000	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		県交付金			
賃金	140,000	0	0	140,000	スタッフ賃金(補助対象外)
報償費	220,000	154,000	77,000	66,000	講師謝礼(説明会、養成講座前8回)
旅費	70,000	49,000	24,500	21,000	講師交通費(説明会、養成講座前8回)
消耗品費	30,000	21,000	10,500	9,000	ふせん、マジック、模造紙等
印刷製本費	30,000	21,000	10,500	9,000	チラシ印刷
食糧費	11,000	700	350	10,300	講師飲料水、(スタッフ弁当代は補助対象外)
通信運搬費	5,000	3,500	1,750	1,500	
保険料	5,000	3,500	1,750	1,500	
計	511,000	252,700	126,350	258,300	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調書)
【単独事業】

市 町 名	那須塩原市
事 業 名	地域による子育て交流事業
事業主体の名称	特定非営利活動法人ゆめがくどう
代表者の名称	後藤 政人
事業主体の所在	〒325-0033 那須塩原市埼玉8-120
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の目的:那須塩原市民及び周辺住民に対して、放課後児童クラブの事業を行い、子どもたちが健全に育っていく環境をつくり、豊かな人間性を育てることを目的とする。 ・設立年月日:平成28年9月30日 ・構成員等:正会員60名、賛助会員104名
当該事業に係る地域の現状と課題	世代間交流の場がなくなり、子育てが孤育てになり、地域で子どもを育てる機会が少なくなっている。子供は決められたルールの中で生活し、自分で考え行動する機会が減っている。また、共働きの家庭が増え、放課後児童クラブの重要性が高まっているが、社会的理解が進んでいない。
事業目的	共に生きる仲間づくりという観点から、子供、保護者だけでなく、今を生きる私たちが「子どもをまんなか」に仲間づくりをしながら、スクラムの組める社会づくりの構築を目指す。地域に見守られた中で、子どもが昔の遊びや集団遊びを通して、自ら考え行動できる力をつけることを目的とする。また、子供にとっての遊びは、成長する過程で必要不可欠な社会教育であることを広めることを目的とする。
事業概要	<p>【平成31年度】</p> <p>■ゆめがくどうフェスタ <内容>地域住民の方々に子どもと一緒に、「昔の遊び」や「集団での遊び」など遊びの楽しさを体験してもらう。泥団子づくり、スポーツチャンバラ、レクレーションなどを企画する。また、放課後児童クラブが子どもにとってどのような場所を紹介し、子育てをする親同士が交流できる場づくりをする。 <開催日> 9月22日 <対象者> 市内在住者ならどなたでも</p> <p>■講演会 <内容>地域で子育てができる社会とするための講演会を行う。仮題「子ども理解を深め、みんなで子育てできる社会とするため」 <開催時期>2月予定 <対象者>市内在住の方どなたでも</p> <p>《情報発信》 ・チラシを作成し、公共施設や各学校等に設置・配布を依頼する。また、法人ホームページに掲載し、情報発信を行う。</p> <p>【令和2年度以降】 引き続き、事業を継続していく。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【基本目標】未来を拓く子どもたちの健やかな成長のために</p> <p>【重点施策】「Kyouiku(教育)体験教育の充実、「Kosodate(子育て)」子育て支援体制の整備に寄与する。</p> <p>【目標指標】児童福祉の充実に対する市民満足度 基準値(平成22年度)48点 → 目標値(平成31年度)60点以上【H27実績 51点】</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	平成30年	平成31年	令和2年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	地域による子育て交流事業	地域による子育て交流事業	地域による子育て交流事業		地域による子育て交流事業
事業費	530,000	830,000	500,000	1,860,000	300,000
市町支出金 (ソフト事業分)	477,000	581,000	250,000	1,308,000	0
うち県交付金	238,500	290,500	125,000	654,000	
市町支出金 (ハード事業分)	0	0	0	0	0
うち県交付金	0	0	0	0	
その他自主財源等	53,000	249,000	250,000	552,000	300,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	市民協働推進課 協働のまちづくり室
担当者名	杉本 雅和
電話	0287-62-7151
FAX	0287-62-7220
E-mail	kyoumachi@city.nasushiobara.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	那須塩原市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	地域による子育て交流事業	
対象年度	31	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
那須塩原市補助金	581,000	
自己資金	249,000	会負担
計	830,000	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
報償費	250,000	175,000	87,500	75,000	講師謝礼(11名)
消耗品費	55,000	38,500	19,250	16,500	事務用品、用紙
印刷製本費	50,000	35,000	17,500	15,000	ポスター、チラシ
保険料	5,000	3,500	1,750	1,500	賠償責任保険
使用料	370,000	259,000	129,500	111,000	会場借り上げ料
委託料	100,000	70,000	35,000	30,000	駐車場交通整理委託
計	830,000	581,000	290,500	249,000	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	那須塩原市
事業名	地域活性化・地域コミュニケーション作りを目的としたチャレンジ大学
事業主体の名称	そすい通り商店会
代表者の名称	山本 博一
事業主体の所在	〒 329-2754 那須塩原市西大和5-10
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の目的:地域活性化・地域の向上・地域コミュニケーションの場作り等を目的とし、加入事業者がその目的のために一つになって課題に取り組むことを目的とする。 ・設立年月日:昭和58年1月1日 ・構成員等:29人
当該事業に係る地域の現状と課題	西那須野地区は中心市街地が空洞化し、交流人口が減少している。商店街では、昔から地元で活躍している「匠の技」をもつ事業者が高齢化し、「匠の技」が途絶の危機にある。また、地域住民も高齢化してきており、空洞化を加速させ、地域の賑わい、交流が薄れてきている。
事業目的	世代を問わず、生活の知恵や匠の技を伝授したり、子どもたちに体験の場を提供する。また子どもたちは、親と一緒に作業することで、家族の触れ合いの機会を作る。また、チャレンジ大学の参加者同士のコミュニケーションが増え、交流の場となり、市民の目で地域を見守っていただけるような社会を目指す。
事業概要	<p>【平成31年度】</p> <p>■チャレンジ大学 <内容>一般市民受けに、世代を問わず地元での「匠の技」を担当の事業所で体験してもらってチャレンジ大学を開催し、体験教育や親子のふれあいに寄与する。「畳作り体験」「パンづくり教室」「恵方巻き作りビザ体験」など <対象者>市内在住者を中心に、1回20人程度</p> <p>■防災セミナー <内容>市内の事業所と連携し、防災士を招いての防災セミナーを開催する。市民、事業者等、地域ぐるみで安全安心について考える機会を設ける。</p> <p>《情報発信》 ・チラシ、ポスターを作成し配布する。新聞折り込みも使ってPRに努める。</p> <p>【令和2年度以降】 引き続き、事業を継続していく。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【基本目標】①未来を拓く子どもたちの健やかな成長のために②未来を創る地域産業の活性化のために③未来に集う人々の活発な交流のために④未来を守る災害対応力強化のために</p> <p>【重点施策】「Kyouiku(教育)体験教育の充実」、「Koyou(雇用)新規創業者への支援」、「kouryu(交流)地域の活性化」、「Kurashi(暮らし)安全安心な生活環境を作ることに寄与する。</p> <p>【目標指標】①児童福祉の充実に対する市民満足度 基準値(平成22年度)48点 ⇒ 目標値(平成31年度)60点以上 【H27実績 51点】 ②就業者数 59,140人(平成22年度)⇒60,000人(平成31年度)【H27実績 59,869人】 ③定住促進計画期間において、市への転入者数が転出者数を上回る【H29実績 36人転出超過】 ④災害に対する備えの強化と生活安全確保に対する市民満足度 基準値(平成22年度)59点 ⇒目標値(平成31年度)65点以上【H27実績 52点】</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	平成30年	平成31年	令和2年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	地域活性化・地域コミュニケーション作りを目的としたチャレンジ大学	地域活性化・地域コミュニケーション作りを目的としたチャレンジ大学	地域活性化・地域コミュニケーション作りを目的としたチャレンジ大学		地域活性化・地域コミュニケーション作りを目的としたチャレンジ大学
事業費	1,038,328	597,100	800,000	2,435,428	500,000
市町支出金 (ソフト事業分)	826,495	375,970	340,000	1,542,465	0
うち県交付金	413,247	187,985	170,000	771,232	
市町支出金 (ハード事業分)	0	0	0	0	0
うち県交付金	0	0	0	0	
その他自主財源等	211,833	221,130	460,000	892,963	500,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	市民協働推進課 協働のまちづくり室
担当者名	杉本 雅和
電話	0287-62-7151
連絡先 FAX	0287-62-7220
E-mail	kyoumachi@city.nasushiobara.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	那須塩原市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	地域活性化・地域コミュニケーション作りを目的としたチャレンジ大学	
対象年度	31	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
那須塩原市補助金	375,970	
自己資金	161,130	会負担
参加者負担金	60,000	500円×20人×6回
計	597,100	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
報償費	65,000	45,500	22,750	19,500	講師謝礼
消耗品費	185,600	87,920	43,960	97,680	事務用品、用紙代、材料費
印刷製本費	143,500	100,450	50,225	43,050	ポスター、チラシ
保険料	35,000	24,500	12,250	10,500	賠償責任保険
委託料	168,000	117,600	58,800	50,400	新聞折り込み
計	597,100	375,970	187,985	221,130	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調書)
【単独事業】

市 町 名	那須塩原市
事 業 名	～多様性を認め合い、人がつながる地域社会を目指して～ Your Dream♪プロジェクト「夢を育てよう」
事業主体の名称	家庭教育オピニオンリーダー たんぽぽの会
代表者の名称	林 美幸
事業主体の所在	〒 325-0033 那須塩原市埼玉247-7
事業主体の概要	・団体の目的:本会は、黒磯地区家庭教育オピニオンリーダーとしての資質の向上を図るとともに、地区の家庭教育の向上に貢献する。 ・設立年月日:平成4年4月10日 ・構成員等:9人(黒磯地区の家庭教育オピニオンリーダー)
当該事業に係る地域の現状と課題	子どもたちが生きづらさを抱える子どもたちが多い現代社会、安心して暮らせる社会をどうつくるか、多様性を認め合う社会のためにインクルーシブ教育を進める必要がある。
事業目的	自然体験をとおして親子、子ども達がコミュニケーションをとり豊かな情緒を育みながら、互いの違いを認め合う関係づくりを行うことを目的とする。
事業概要	【平成31年度】 ■野菜の作付と交流会 ＜内容＞野菜の作付、除草作業、収穫を行い地域住民、障がい者施設の方々と交流を行う。 ＜対象者＞市民 ■ワークショップ ＜内容＞「あなたの夢は何ですか？」 ＜開催時期＞11月予定 ＜対象者＞市民 《情報発信》 ・チラシ、SNSを利用して情報発信を行う。 【令和2年度以降】 引き続き、事業を継続していく。 【令和2年度以降】 「いじめ防止に向けた親子コミュニケーション事業」に連携させた事業を行う。
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	【基本目標】①未来を拓く子どもたちの健やかな成長のために 【重点施策】「Kyouiku(教育)」不登校児童生徒への支援の充実 「Kosodate(子育て)」子育て支援体制の整備 【目標指標】①児童福祉の充実に対する市民満足度 基準値(平成22年度)48点 ⇒ 目標値(平成31年度)60点以上 【H27実績 51点】

各年度ごとの事業内容及び				(単位・出)	
	平成30年	平成31年	令和2年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	～多様性を認め合い、人がつながる地域社会を目指して～ なしお博「みんなの学校」上映特別講演 木村泰子先生講演会 193,126	～多様性を認め合い、人がつながる地域社会を目指して～ ワークショップの開催 60,300	～多様性を認め合い、人がつながる地域社会を目指して～ ワークショップの開催 50,000	303,426	50,000
事業費	193,126	60,300	25,000	278,426	0
市町支出金(ソフト事業分)	171,000	42,210	12,500	225,710	
うち県交付金	85,500	21,105	6,250	112,855	0
市町支出金(ハード事業分)	0	0	0	0	
うち県交付金	0	0	0	0	
その他自主財源等	22,126	18,090	12,500	52,716	

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	市民協働推進課 協働のまちづくり室
担当者名	杉本 雅和
電話	0287-62-7151
連絡先 FAX	0287-62-7220
E-mail	kyoumachi@city.nasushiobara.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	那須塩原市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	～多様性を認め合い、人がつながる地域社会を目指して～ Your Dream♪プロジェクト「夢を育てよう」	
対象年度	31	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
那須塩原市補助金	42,210	
自己資金	18,090	会負担
計	60,300	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		県交付金			
報償費	5,000	3,500	1,750	1,500	講師謝礼
印刷製本費	20,000	14,000	7,000	6,000	チラシ印刷
消耗品費	30,300	21,210	10,605	9,090	事務消耗品、苗・種代
保険料	5,000	3,500	1,750	1,500	
計	60,300	42,210	21,105	18,090	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	那須塩原市
事業名	民話かたりでふるさとおこし
事業主体の名称	塩原のかたりべ
代表者の名称	佐藤 峰子
事業主体の所在	〒329-2807 那須塩原市接骨木437-4
事業主体の概要	<p>・団体の目的:那須塩原地区に残る伝説などを掘り起こし、民話語りの伝承・普及・発展に努めると共に、民話語りをおして那須塩原市内の観光に寄与することを目的とする。</p> <p>・設立年月日:平成16年4月1日</p> <p>・構成員等:11人</p>
当該事業に係る地域の現状と課題	那須塩原市、特に塩原地区は歴史ある観光地であり、伝説が多くあるにもかかわらず、まとまった手引書となるようなものがほとんどない。大人も子どもも自分が住んでいる街の伝説等に関心が低い。
事業目的	口伝え(口承文芸)が命の民話は、人と人とのふれあい、コミュニケーションの中から生まれてくるものでもあります。ふるさとの民話を形にして本に残すことによって、子どもたちの豊かな情操を育み自分の住んでいる街に、より愛着が生まれる。大人にもこの街を再確認でき、地域への愛着の再確認することを目的とする。また観光地でもあるこの地をアピールでき観光活性化の一助にする。
事業概要	<p>【平成31年度】 1200年の歴史の中で伝承されている塩原の民話(伝説・昔話・世間話)を再話し「塩原の民話」を発行する。 市内の幼・保育園、小・中学校、市内の教育施設、図書館、公民館、市役所、観光施設、宿泊施設等に配布する。</p> <p>口演会 ＜開催日＞令和元年8月24日(土) ＜場所＞ハロープラザ</p> <p>語り部継承のための養成講座 ＜開催日＞令和元年9月5日、12日、19日、26日 ＜場所＞ハロープラザ</p> <p>【令和2年度以降】 「塩原の民話」をテキストにして口演会を実施。 民話語りの広報活動</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【基本目標】①未来を拓く子どもたちの健やかな成長のために ③未来に集う人々の活発な交流のために</p> <p>【重点施策】「Kyouiku(教育)」豊かな情操教育、「kouryu(交流)」地域の連帯感と観光の活性化に寄与する</p> <p>【目標指標】①児童福祉の充実に対する市民満足度 基準値(平成22年度)48点 ⇒ 目標値(平成31年度)60点以上 【H27実績 51点】 ③定住促進計画期間において、市への転入者数が転出者数を上回る【H29実績 36人転出超過】</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

事業内容	平成31年度	令和2年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	民話かたりでふるさとおこし	民話かたりでふるさとおこし		民話かたりでふるさとおこし
事業費	0	928,800	500,000	1,428,800
市町支出金 (ソフト事業分)	0	835,920	350,000	1,185,920
うち県交付金	0	417,960	170,000	587,960
市町支出金 (ハード事業分)	0	0	0	0
うち県交付金	0	0	0	0
その他自主財源等	0	92,880	150,000	242,880

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	市民協働推進課 協働のまちづくり室
担当者名	杉本 雅和
電話	0287-62-7151
FAX	0287-62-7220
E-mail	kyoumachi@city.nasushiobara.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	那須塩原市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	民話かたりでふるさとおこし	
対象年度	31	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
那須塩原市補助金	835,920	
自己資金	92,880	会負担
計	928,800	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		県交付金			
印刷製本費	928,800	835,920	417,960	92,880	単価860円×1,000部
計	928,800	835,920	417,960	92,880	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	那須塩原市
事業名	見守り活動「埼玉地域見守り活動サポート」
事業主体の名称	埼玉コミュニティ推進協議会
代表者の名称	山口 護
事業主体の所在	〒325-0033 那須塩原市埼玉83-73
事業主体の概要	<p>・団体の目的:会員と関係団体が連携・協力し、住民の意思反映と住民の自主参加により、地域内の課題解決、活性化及び将来構想に向けた活動を推進し住民相互の連帯感と生活文化の向上を図り、安全で安心して生活できる明るく住みやすい地域づくりに資することを目的とする。</p> <p>・設立年月日:平成29年6月1日</p> <p>・構成員等:地区世帯数 595戸</p>
当該事業に係る地域の現状と課題	「無縁社会」と言われる現代の課題の地域の人間関係の希薄化、子育て世代の自治会離れから、世代間のつながりや信頼関係の希薄化が進んでいる。小中高校と学校と隣接するコミュニティとして子どもが多い地域であり、世代間の顔の見える信頼関係は重要とされる。
事業目的	家族、地域のつながりあい、支え合い機能の低下を地域の市民力と地域資源で「見守り」の強化を図る
事業概要	<p>【平成31年度】</p> <p>・孤立した高齢者、登下校時の子どもを対象に生活と登下校の見守り活動が出来るように、地域資源となる人材や場所(パトロール隊、子どもを守る家、民生委員、児童民生委員、子どもお離子会、育成会長、自治会長、自治公民館長、公民館長、生きがいサロン、消防団、防災時避難場所、自治公民館など)を可視化したサポートブックを作成する。</p> <p>サポートブックの作成には、パトロール隊を結成し、小学校PTAと連携した地域の危険箇所、子どもを守る家などの情報を共有する。また、高齢者の居場所を設置し孤立している高齢者を把握する。コミュニティ内の3つの自治会内にベンチを設置し(えんがおベンチプロジェクト 別紙参照)人の集う場所を作り人の交流を深める。</p> <p>① パトロール隊を結成し、学校との連携体制の強化</p> <p>② パトロール隊以外の住民は登下校時間に合わせ、犬の散歩、ウォーキングの時間にして自然監視性の高い状態にする</p> <p>③ 高齢者の居場所づくり(埼玉自治公民館にて月2回実施)</p> <p>④ ベンチを設置し(ベンチプロジェクト)人の交流を作る</p> <p>ベンチ製作には地域住民の力で製作する(埼玉地区、南埼玉地区、春日地区の3箇所)</p> <p>⑤ 月一回交流を深めているMTG(ミーティング)と各育成会会議で情報共有し、12月サポートブックをコミュニティ内の各家庭に完成配布予定とする(配布予定650戸)</p> <p>【令和2年度以降】</p> <p>活動範囲を広げ埼玉小学校区を網羅できるように、上厚埼玉コミュニティと連携を強化し学校と調整しICT化を図る。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【基本目標】未来に集う人々の活発な交流のために</p> <p>【重点施策】「Kurashi(暮らし)」「Kouryu(交流)」家族、地域の支えあい機能の強化に寄与する</p> <p>【目標指標】定住促進計画期間において、市への転入者数が転出者数を上回ること。【H29実績 36人転出超過】</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

事業内容	平成30年度	平成31年度	令和2年度	支援期間の事業費計	
				支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
見守り活動「埼玉地域見守り活動サポート」					
事業費	0	218,000	200,000	418,000	200,000
市町支出金(ソフト事業分)	0	189,000	140,000	329,000	0
うち県交付金	0	94,500	70,000	164,500	
市町支出金(ハード事業分)	0	0	0	0	0
うち県交付金	0	0	0	0	
その他自主財源等	0	29,000	60,000	89,000	

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	市民協働推進課 協働のまちづくり室
担当者名	杉本 雅和
電話	0287-62-7151
連絡先 FAX	0287-62-7220
E-mail	kyoumachi@city.nasushiobara.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	那須塩原市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	見守り活動「埼玉地域見守り活動サポート」	
対象年度	31	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
那須塩原市補助金	189,000	
自己資金	22,800	会負担
計	211,800	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		県交付金			
印刷製本費	195,000	175,500	87,750	19,500	報告会出演者謝礼
原材料費	15,000	13,500	6,750	1,500	報告会出演者旅費
消耗品	1,800	0	0	1,800	
計	211,800	189,000	94,500	22,800	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	那須塩原市
事業名	段ボール御神輿コンクール
事業主体の名称	東那須野地区ふれあい推進協議会
代表者の名称	吉成 伸一
事業主体の所在	〒329-3147 那須塩原市東小屋474-11
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> 団体の目的: 明るく住みよい心の通い合う地域社会づくり、伝統ある故郷の行事を守り発展させるとともに、まつりを通じて郷土愛を育て、健全な青少年育成と産業の振興を図ることを目的とする。 設立年月日: 平成25年6月22日 構成員等: 2,718世帯
当該事業に係る地域の現状と課題	地域のまつりに地区内の16子ども会育成会に子供神輿に出演を依頼しているが年々参加する子供会が少なくなっている。
事業目的	地域の子供たちのつながりと郷土愛を育み、また祭りへの参加する子どもみこしの数を増やし、地域行事への理解と参画を促進し、健全な青少年育成を目指す。
事業概要	<p>【平成31年度】</p> <p>■段ボール御神輿コンクール 東那須野地区内16子ども会に段ボールを使った御神輿の作成を依頼。 作成時期は夏休み期間とする。 出陣式において入賞作品の発表とお披露目をして練り歩く。</p> <p>【令和2年度以降】</p> <p>引き続き、事業を継続していく。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【基本目標】未来を拓く子どもたちの健やかな成長のために</p> <p>【重点施策】「Kyouiku(教育)健全な青少年育成に寄与する。」</p> <p>【目標指標】児童福祉の充実に対する市民満足度 基準値(平成22年度)48点 ⇒ 目標値(平成31年度)60点以上【H27実績 51点】</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳 (単位:円)

	平成30年度	平成31年度	令和2年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容		段ボール御神輿コンクール	段ボール御神輿コンクール		段ボール御神輿コンクール
事業費	0	360,000	360,000	720,000	360,000
市町支出金(ソフト事業分)	0	306,000	252,000	558,000	0
うち県交付金	0	153,000	108,000	261,000	
市町支出金(ハード事業分)	0	0	0	0	0
うち県交付金	0	0	0	0	
その他自主財源等	0	54,000	108,000	162,000	

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	市民協働推進課 協働のまちづくり室
担当者名	杉本 雅和
連絡先	電話 0287-62-7151
	FAX 0287-62-7220
	E-mail kyoumachi@city.nasushiobara.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	那須塩原市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	段ボール御神輿コンクール	
対象年度	31	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
那須塩原市補助金	306,000	
自己資金	54,000	会負担
計	360,000	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		県交付金			
報償費	20,000	0	0	20,000	賞品(補助対象外)
消耗品	340,000	306,000	153,000	34,000	ダンボール等
計	360,000	306,000	153,000	54,000	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	那須塩原市
事業名	feelings 夏まつりフェス
事業主体の名称	feelings
代表者の名称	金子 拓也
事業主体の所在	〒329-2763 那須塩原市井口548-133
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の目的:地域の活性化、地域産業の活性化 ・地元アーティストの活躍できる場の提供 ・設立年月日:平成27年6月14日 ・構成員等:15人
当該事業に係る地域の現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の行事に参加する人が減少し交流の場が減少している ・地元出身のアーティストの活動の場が少ない
事業目的	地域内外の人々が交流できる場を提供する。またアーティストに活動の場を提供し子どもたちへ将来の夢を実現させる思いを伝える。
事業概要	<p>【平成31年度】</p> <p>■人たちが集う夏祭りを開催 <開催日>令和元年8月 <場所>太夫塚公園 <内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・音楽フェス ・子供向けイベント スタンプラリー みるひいと〇×ゲーム ・アームレスリング大会 ・地元の飲食店による出店 <p>【令和2年度以降】</p> <p>引き続き、事業を継続していく。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【基本目標】未来に集う人々の活発な交流のために</p> <p>【重点施策】「Kouryu(交流)」人々が集う拠点をつくり活発な交流に寄与する</p> <p>【目標指標】定住促進計画期間において、市への転入者数が転出者数を上回ること。【H29実績 36人転出超過】</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	平成30年	平成31年	令和2年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容		feelings 夏まつりフェス	feelings 夏まつりフェス		feelings 夏まつりフェス
事業費	0	603,500	500,000	1,103,500	500,000
市町支出金 (ソフト事業分)	0	457,450	250,000	707,450	0
うち県交付金	0	228,725	125,000	353,725	
市町支出金 (ハード事業分)	0	0	0	0	0
うち県交付金	0	0	0	0	
その他自主財源等	0	146,050	250,000	396,050	500,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	市民協働推進課 協働のまちづくり室
担当者名	杉本 雅和
電話	0287-62-7151
FAX	0287-62-7220
E-mail	kyoumachi@city.nasushiobara.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	那須塩原市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	feelings 夏まつりフェス	
対象年度	31	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
那須塩原市補助金	457,450	
自己資金	101,050	会負担
参加出店費	45,000	
計	603,500	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
報償費	195,000	161,800	80,900	33,200	講師謝礼
消耗品費	34,000	30,600	15,300	3,400	事務用品
印刷製本費	42,000	37,800	18,900	4,200	ポスター、チラシ
保険料	20,000	18,000	9,000	2,000	イベント保険
委託料	54,000	48,600	24,300	5,400	交通整理
食糧費	80,000	0	0	80,000	スタッフ分は補助対象外
燃料費	13,500	12,150	6,075	1,350	
賃借料	165,000	148,500	74,250	16,500	
計	603,500	457,450	228,725	146,050	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	那須塩原市
事業名	広げよう！防災の輪
事業主体の名称	ガールスカウト栃木県第2団
代表者の名称	高村 照子
事業主体の所在	〒329-2712 那須塩原市下永田3-1164-34
事業主体の概要	・団体の目的:ガールスカウト運動を通じて、少女と若い女性が自分自身と他の人々の幸福と平和のために責任ある市民として自らの可能性を最大限に伸ばし、発揮できる社会の形成を推進することを目的とする。 ・設立年月日:昭和43年8月7日 ・構成員等:19人
当該事業に係る地域の現状と課題	日本全国でさまざまな自然災害が発生しています。いつ、どこで、どんな災害に見舞われるか予測不可能です。子どもたちは学校での避難訓練以外に防災について学ぶ体験が少ないため、災害時をイメージした直接体験できる機会が必要である。
事業目的	次代を担う子どもたちを災害が発生した時に主体的に行動できる人となれるよう、いつどのような困難に直面しても、自分で自分の身を守るようになれる人材を育成することを目的とする。
事業概要	【令和元年度】 <開催日> 令和2年2月11日 <対象者> 市内小学生 <会場> ボーイスカウト那須野野営場 ①救急法(日本赤十字社栃木県支部指導) AED体験 ②非常食を知ろう(ガールスカウト栃木県第2団指導) 非常食の活用方法体験 ③応急手当(日本赤十字社栃木県支部指導) 簡易担架の作り方、三角巾の使い方等災害時を想定した応急手当の指導 ④マイ防災ポーチ作り(ガールスカウト栃木県第2団指導) ポーチ作りを行い非常持ち出し袋を考える 【令和2年度以降】 野外アクティビティ 災害時をイメージしたミニキャンプ等を行い野外での炊事体験等を実施
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	【基本目標】未来を拓く子どもたちの健やかな成長のために 【重点施策】「Kyouiku(教育)健全な青少年育成に寄与する。 【目標指標】児童福祉の充実に対する市民満足度 基準値(平成22年度)48点 ⇒ 目標値(平成31年度)60点以上【H27実績 51点】

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	平成31年度(令和元年度)	令和2年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①救急法 ②非常食を知ろう ③応急手当 ④マイ防災ポーチ作り	野外アクティビティ		野外アクティビティ
事業費	0	65,950	100,000	165,950
市町支出金 (ソフト事業分)	0	57,915	70,000	127,915
うち県交付金	0	28,957	35,000	63,957
市町支出金 (ハード事業分)	0	0	0	0
うち県交付金	0	0	0	0
その他自主財源等	0	8,035	30,000	38,035
				200,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	市民協働推進課 協働のまちづくり室
担当者名	杉本 雅和
電話	0287-62-7151
FAX	0287-62-7220
E-mail	kyoumachi@city.nasushiobara.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	那須塩原市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	広げよう！防災の輪	
対象年度	31	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
那須塩原市補助金	57,915	
自己資金	8,035	会負担
計	65,950	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		県交付金			
報償費	10,000	9,000	4,500	1,000	講師謝礼
消耗品費	15,500	13,950	6,975	1,550	非常食・材料費
通信運搬費	2,520	2,268	1,134	252	はがき
印刷製本費	11,330	10,197	5,098	1,133	チラシ
保険料	2,000	1,800	900	200	
使用料	23,000	20,700	10,350	2,300	野営場
飲食費	1,600	0	0	1,600	
計	65,950	57,915	28,957	8,035	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合